

## 和光の自然と歴史を散策するツアー 湧き水の会会報 Verda121号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 代表理事 高橋絹世記

和光市の白子は江戸時代川越街道の宿場として有名です。急な斜面からは豊富な湧き水が湧き出しています。地形的には、武蔵野台地が荒川におちる末端部で、川に削られた斜面のれき層下部から湧き出す湧水が実際に今でも観察できる「大坂ふれあいの森」や「富沢湧水」がある貴重な所です。

今回は、南西部地域の街道をたどる事業の第1弾として、NPO 法人親の会絆(代表小宮さん)が主催、NPO 法人和光・緑と湧き水の会共催で企画し、当会がご案内することになりました。午前は白子地域の自然と歴史、午後は新倉ふるさと民家園も訪ねました。さらにNPO 法人ぽけっとステーションによる地元野菜を使ったお弁当が販売され楽しみが加わりました。

16日は好天に恵まれ、板橋区の成増に集合し、川越街道の歴史をたどり、白子地区では自然がたっぷり残る湧水や斜面林の観察、はるか昔の地層の歴史に触れ、都会とは思えない体験ツアーとなりました。



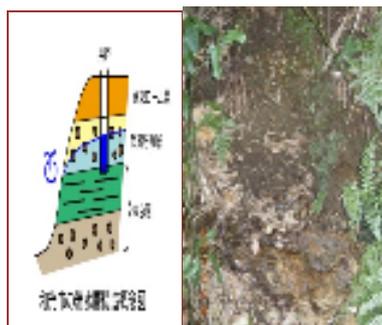
親の会絆に委託され実現した広域ふれあい事業。先発班と後発班の2班にわかれて、足取り軽く出発。



白子宿の入り口あたりの新田坂で石碑群見学。白子宿の旧家佐和屋屋敷を見学し、大坂ふれあいの森へ。



斜面林と湧き水が一体の「大坂ふれあいの森」「富沢湧水」鎮守の森「熊野神社」午後はふるさと民家園へ



**湧水の仕組み**  
関東ローム層の下に水を通す武蔵野れき層があり、その下の粘土層は水を通さない。れき層から湧水がわく仕組み



ぽけっとステーションのふれあい弁当